



2014年10月5日掲載

新潟乗り鉄紀行／信越本線編

原稿書きの取材で、新潟に行ってきた。行きは新幹線、帰りは信越本線、上越線経由でだらだら鈍行にしたのである。

1つネックになるのは、上越国境越え。この区間、ほぼ2時間に1本しかないのだ。

行程を考えるのに苦労したが、結果としてわずかではあるものの北越急行ほくほく線に乗れることが判明。せっくなので、ほくほく線にも乗っておくことにしたのである。

なお、ほぼ半年ぶりの「乗り鉄紀行」となる。そのため、今回も列車番号も併記することにした。

早朝4時に起床し、朝一の上越新幹線「とき301号」301Cを東京駅から乗車。6時08分の出発前に、新幹線乗車時の駅弁ではお約束の「チキン弁当」を購入し、車内で食す。

301CはE2系J編成での運用だが、この編成で上越新幹線を走るのがいまいちピンと来ない。J編成は、どうしても東北新幹線というイメージである。

高崎に停車し、上毛高原を通過すると、青函トンネル開通までは日本最長トンネルだった大清水トンネルを通る。トンネルを抜ければ新潟県だ。

越後湯沢に停車すると、301Cは終点の新潟まで各駅に停車する。ちょうど、新潟県内の上越新幹線の駅に相当する。

長岡を過ぎると、左手におぼろげながら佐渡島が見えてきた。日本海も見えるかと思ったら、海岸沿いが丘陵地になっているようで見るできない。

8時12分に新潟に到着。ここから信越本線に乗り換え、越後石山に向かう。

新潟8時33分発の新津行き2524Dは、前後のキハE120系の間に1両だけキハ110系を挟んだ3両編成。電化区間なのに、気動車なのだ。



新潟—新津間は日中20分間隔で、磐越西線に乗り入れ

る列車や、この区間の折り返し列車もある。磐越西線への直通の間合い運用で、気動車が走るようだ。

2524Dは定刻に新潟を出発し、次の越後石山で下車。ここで取材活動する。

2524Dの後続である長岡行き432Mを待っていると、下り線にEF81型電気機関車に引かれた「SLばんえつ物語」の送り込み回送回8421レが通過。蒸気機関車のC57 180は、最後尾に逆向きで連結されていた。

432Mに乗車し、さらに次の亀田で下車し取材。115系だった432Mの後続となるキハ110系の228Dで、新津へ向かう。

9時38分に新津着。近くにある車両製造工場を見てみようと思ったが、意外と距離があり時間がないのであきらめる。

でも、その代わり先ほど越後石山で見送った「SLばんえつ物語」が、営業運転で入線するのを見る。何人かの撮り鉄とともに、汽笛を鳴らしながらやってくるSLを撮影した。



10分ほどの停車時間で、新津1番線は一大撮影会場と化する。その間、EF510型電気機関車牽引で通過する貨物列車とのコラボも実現した。



10時15分、「SLばんえつ物語」8226レが出発。スターが去った1番線は、一気に寂れてしまった。

私は、新津10時29分発の長岡行き434Mに乗車。新津で特急「北越4号」1054Mに抜かれるため、8分停車する。

この日の434Mは、運転士と車掌両方が女性だった。女性が鉄道の現業で活躍しているのを実感した瞬間である。

434Mに乗車中も取材を続け、11時24分に長岡に到着。ここで取材も終了した。

以後の様子は[こちら](#)へと続く。

[\[トップページ\]](#)



2014年10月18日掲載

新潟乗り鉄紀行／ほくほく線編

新潟への乗り鉄紀行をお送りしているが、今回はその2回目。1回目は[こちら](#)をご覧ください。

新津から434Mに乗り、長岡には11時24分に到着。上越線の上りは、12時31分発の越後湯沢行き1736Mまで1時間以上ない。

この時間を利用し、家族へ柿の種やおせんべいなどのおみやげを購入。そして、昼食の思案をする。

駅ビルをさまようと、フードコートがあった。とはいえ、そば屋、チキン屋、ナポリタン屋の3軒しかない。

この中で、「新潟名物」のナポリタンにした。しかも、餃子をセットにしてである。

ナポリタンとは、端的に言えばトマトソースをかけた焼



きそばで、新潟のB級グルメである。太麺とトマトソースとが絶妙に絡み合い、美味なのだ。

12時31分、1736M越後湯沢行きが発。次第に沿線が山がちの風景になる。

1時間ほどで六日町に到着。ここで、ほくほく線に乗り換え、十日町に向かう。

1736Mに乗り続けても、ほくほく線で六日町—十日町間を往復しても、上越国境越えの列車は一緒。だったら、ほくほく線に乗っておくことにしたのだ。

13時54分、越後湯沢発のほくほく線経由直江津行き838Mが六日町のほく



ほく線ホーム5番線に入線。ワンマンの2両編成である。

838Mは13時55分に出発、次の魚沼丘陵を過ぎると、私鉄最長となる延長10742mの赤倉トンネルに入る。ここを、普通列車でも最高110km/hで走行するのだ。

赤倉トンネルを抜け、2駅目が十日町。ここで、対向の越後湯沢行き839Mに乗り換える。

来た車両は、HK100形でも「ゆめぞらⅡ」。トンネルに入ると天井に映像が投影される仕組みで、この日は星座編の上映だった。

六日町からは上越線に乗り入れる。引き続き、JRの線路を北越急行の運転士が越後湯沢まで担当するのだ。

北越急行は、首都圏と北陸をショートカットするために建設された。越後湯沢—金沢間を結ぶ特急「はくたか」は、ほくほく線内を在来線最速タイとなる160km/hで走る。

ところが、来年3月14日に北陸新幹線が金沢まで延伸開業すると、「はくたか」は廃止となり、ほくほく線から特急が姿を消すのだ。先ほど六日町でほくほく線を待っていたときに、上下の「はくたか」が相次いで通過していくのを目にしたが、次にここを訪れるころにはもう見れない光景だろうと思うと感慨ひとしおである。



余談だが、今回旅をして初めて六日町と十日町の区別が分かった。六日町が上越線とほくほく線、十日町が飯山線とほくほく線である。

839Mは速度が落ちないように、定速2ノッチを保持して勾配を上っていく。そして、14時45分に越後湯沢に到着した。

ここで、上越国境越えの1738Mに乗り換える。その続きは[こちら](#)からどうぞ。

[[トップページ](#)]



2014年10月26日掲載

新潟乗り鉄紀行／上越線編

今月の「つれづれWEB」は「新潟乗り鉄紀行」と題してお送りしているが、今回が最終回となる。[1回目](#)、[2回目](#)はそれぞれをご覧ください。

14時45分、ほくほく線からの直通839Mで越後湯沢に到着。ここで友人に電話し、飲みを誘う。

嫁さんには帰りが遅くなることを伝えていたので、夕食をどうしようか考えていた。事前にこの旅を伝えていた友人と、旅の報告を兼ねて酒を酌み交わそうとしたのである。

可否は友人の嫁さんに確認するとのことなので、長岡始発の越後湯沢15時05分発水上行き1738Mに乗車してその返事を待つ。この列車で、上越国境を越えるのだ。

山岳路線の様相を呈し、上り勾配が続く。しかし、何かがおかしい。

勾配標が軒並み下を向いているのだ。勾配標とは、ここから先の勾配を示した標識で、腕木の方向で勾配の上下を、腕木に書かれた数字が勾配の大きさを示す。

ところが、腕木がみんな下を向いているおかげで、上り勾配のはずなのに下り勾配を示してしまっているのである。どうも、雪の重みで腕木を固定するボルトが緩み、下を向いているようだ。

土樽を過ぎると、清水トンネルに突入。トンネルを抜けると、そこは群馬県である。

土合、そしてループ線で有名な湯檜曾では、大きなリュックをしょったハイカーが乗降。熊よけの鈴がチリンチリンと鳴っていたのが印象的である。

ここで、くだんの友人からメール。嫁さんからの許可が出たようなので、飲み決定！

15時43分に水上到着。15時53分発高崎行き746Mに乗り換える。

今回乗車した1738Mは、今年春に長野総合車両セン



ターから新潟車両センターに転属した115系。塗色は長野色のままで、所属表記も「長ナノ」のままだが、消火器は「新潟車両センター」のラベル表記になっていた。

乗り換える746Mは、高崎車両センター所属で湘南色の115系。水上なのに、湘南色と長野色の並びを目の当たりにすることになったのだ。



信越本線と上越線を乗り継いできて、気動車と北越急行所属車以外はすべて115系だった。新潟地区の115系はいずれE129系に置き換えられる予定なので、これも貴重な体験になるろう。

16時31分、渋川に到着すると、ホームの反対側に12系客車とD51 498が停車していた。この日は上越線でも「SLみなかみ」が運転されていたが、746Mの停車時間が短いために写真は断念することにする。

高崎には16時56分に到着し、17時01分発高崎線上野行き956Mに乗り換える。本来なら、17時12分発湘南新宿ライン快速平塚行き2260Yに乗るはずだったが、友人との飲みで湘南新宿ラインに乗る必要がなくなったので、直近の高崎線にした。

グリーン車に乗るつもりでいたものの、飲み代に回すために普通車に。しかしながら、E231系で1時間半も座り続けると、さすがにお尻が悲鳴を上げてくる。

飲みのお会場である赤羽に18時38分到着。友人と合流し、宴が始まった。

宴の最中、さらにもう1人友人を呼び出して、都合3時間半の飲み。その後、帰宅した。

前回の乗り鉄紀行でも痛感したが、少なくともこれだけは断言できる。乗り鉄するには、18きっぷシーズンを外すに限る!!

[\[トップページ\]](#)